西南学院小学校 学校長メッセージ
「学校通信 Wings 2026 年 11 月号」

主は必ず良いものをお与えになり、私たちの地は実りをもたらします。
（詩編８５－１３）

10 月に行われた授業参観後の講演会のご挨拶のなかで、西南学院小学校の喫緊の課題に対してワーキングチームを編成したことをお伝えいたしました。当日生徒指導のワーキングチームから出された通信を読んでいただけていると思います。

学校からたくさんの連絡事項があり、丁寧に見ていただくことは、お忙しい保護者の方には難しいかもしれませんが、お子様のために行っているものですので、どうかご協力を宜しくお願いいたします。

ワーキングチームは、教職員の校務担当と重なっているものが多いのですが、特にこの２学期に推進しなければいけないことに対して編成しています。力を入れて行っているものといえます。

生徒指導を含めて全部で５つのワーキングチームがあるのですが、今後各ワーキングチームからご協力のお願いやお知らせ等があると思いますので、どうか宜しくお願いいたします。

今回は、「平和教育ワーキングチーム」の働きを記したいと思います。

「真理を探求し平和を創りだす人の育成」ということを西南学院小学校の教育理念として掲げているように、全ての教育活動を通して、平和を創り出す知恵を培い、これからの社会に秩序と平和の構築に貢献していく子どもたちを育てることを大切にしてきました。カリキュラムを作成するに当たっても、毎日のチャペルの時間や様々な行事や学習の中で、平和について指導する場面は数多く展開してきましたので、現在までに個別で行ってきた平和教育を、西南学院小学校のカリキュラムとして系統化することで、さらに価値あるものの見方や考え方を丁寧に育てていけるようにしたいと考えています。

平和については、聖書にも記されていることを踏まえて、「聖書」の繋がりも明確にし、さらに「食育」も平和教育に繋がる大切なものであるため、日常指導、特別活動の２観点に分けて、カリキュラムを作成しているところです。「聖書」と「食育」も含めて平和教育の充実をはかっていきます。

また、教職員の年齢の幅も大きいため、平和教育に関しての認識の違いは当然あるものと考えられます。さらに今後も全ての教職員が平和教育を担っていきますので、教職員のための研修や講師選定等が充実したものとなるよう計画的に行っているところです。

全ての教職員が平和教育の認識を確かで深いものにするため、今までも行ってきていましたが、今年度は広島女学院高等学校の安宅弘展先生から探究学習・平和教育そして広島でのフィールドワークを行っていただきました。また、西南学院大学の卒業生で、「核政策を知りたい広島若者有権者の会（カクワカ広島の会）」の代表の田中美穂さんに講師として子どもたちにお話をしていただきました。子どもたちの感想は、学校通信 11 月号その２で紹介させていただきます。

寒くなってきました。皆様のお身体が守られ、実りの多い日々となりますようお祈りしています。

（文責　黒木佐幸）